

## 産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

# 産業標準案作成対象テーマ一覧(制定)

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号 (制定の場合は、仮の番号)	JIS案の名称	JIS案の英文名称	制定する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	01 基本	制定	B0662	製品の幾何特性仕様(GPS)－測得	Geometrical product specifications (GPS)－Extraction	測得(Extraction)は、製品の幾何特性仕様(GPS)規格で多用される用語である。また、測得における基本的な形状に対するサンプリング方針を標準化することは、産業界における品質管理にとって非常に重要である。そのため、ISOでは、2010年に国際規格としてISO 14406(Geometrical product specifications (GPS)－Extraction)を発行した。このISO 14406の発行に伴い、最近では、我が国においても測得の定義及び形状に対するサンプリング方針の標準化について産業界・教育界のニーズが出されているため、この国際規格を基礎として速やかにJIS化することが望まれている。	ISO 14406の発行に伴い、「測得」という語(Word)が使用され始め、浸透もしてきているが、その定義の厳密さを欠いているのが現状である。このような課題を解決するためにこの規格を制定することによって、用語及び定義、サンプリング方針方法の統一化が図られ、品質の改善及び技術の普及等に、大きな効果が見込める。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・測得におけるサンプリング及び再構成 ・サンプリングスキーム	—	ISO 14406:2010	MOD	第2条の該当号: 4(測定の方法)  対象事項: 鋳工業品に関する	法律の目的に適合している。	利点: ア、ウ、オ、キ  欠点: いずれも該当しない。	基礎的・基盤的分野		一般財団法人日本規格協会のWG	2023年6月